

令和5年度 磐田市立南部中学校 学校評価書

各項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「思わない」の4段階でアンケートを行いました。2学期末のアンケートの回答から、各質問項目において「そう思う」及び「だいたいそう思う」と回答したものを合わせた割合を記載してあります。この結果を、来年度の教育課程編成に生かしていきたいと思っております。
 (※R3年度よりGoogle Formsを利用し、Web上でアンケートを行っています。そのため、R2年度以前の紙面のアンケートとは、回答の傾向が若干異なっている可能性があります。)

1 【豊かな心】 (生活部)		生徒(%)	生徒前年比	保護者(%)	教師(%)	成果と課題(主にピンクの網掛けの数値について)	学校運営協議会としての意見
1	学校が楽しいと思う。	90.9	1.0	90.2	96.0	昨年度に引き続き、全体的に高い数値を維持することができた。学校生活が落ち着いていることが、数値からも読み取れる。 No.2の挨拶や返事については、昨年度同様に生徒や保護者の数値は高く、教師の数値が低かった。生徒は、地域や家庭の中で挨拶や返事をする習慣を一定程度身に付けているが、学校生活においては十分ではないと考えられる。学校生活における挨拶や返事は、将来的には職場等における挨拶や返事につながると考えられる。家庭や地域の身近な相手に対してだけでなく、どのような相手に対してもしっかりと挨拶や返事ができるよう、今後も積極的に指導をしていきたい。 また、No.8の施設・設備については、本年度、トイレの改修などが行われた。引き続き、生徒の気づかない細かな点にも気を配りながら、安心・安全に過ごすことができる環境整備に努めたい。	全体的に数値が高く、本年度も生徒たちに寄り添った教育が行われている成果だと感じる。 挨拶や返事については、生徒による個人差を感じる。PTA資源回収の際にも、学年によって挨拶の様子が異なっていることを感じた。挨拶や返事はコミュニケーションの基本であり、社会に出てからも必要とされることなので、引き続き学校でも指導をお願いしたい。教師に比べ生徒の自己評価が高いことから、生徒自身はどのように挨拶をすることが理想的であるか理解できていないと思われる。具体的に示すことも必要であろう。 「校則の見直し」が進んでいる市町も見受けられるようになってきた。校則を見直していく過程で、生徒の意見を大切にすること、社会に出てからは自分が納得できないルールであっても必ず守らなければならないという意識を育むことをお願いしたい。
2	挨拶や返事がしっかりできる。	91.1	-1.6	90.6	42.3		
3	私たちの学級(学校)は、互いにルールを守り、協力する雰囲気がある。	92.8	1.8	97.2	92.3		
4	南部中に誇りを持っている。	83.1	-0.5	79.6	73.1		
5	学校に相談できる人がいる。	85.1	3.4	82.5	92.3		
6	南部中学校の先生は、話を聞いてくれ、自分のことをわかってきている。(子どもを理解し、指導に当たっている)	88.5	1.1	89.7	96.2		
7	家の人とコミュニケーションがとれ、心がつながっていると思う。	93.1	4.3	94.1	92.0		
8	南部中学校の施設や設備は安心して使える。	86.9	2.8	89.9	53.8		
2 【豊かな心】 (特別活動部)							
9	生徒会活動や係活動に意欲的に取り組んでいる。	88.1	-2.3	85.0	76.9	No.9は、生徒と比較して教師の数値が低い。これは、本年度目標としてきた生徒の主体的な活動について、教師として「これで満足してはいけない」という思いの表われであると考え。 No.11、12は、他より低い値であるが、昨年度よりも改善がみられる。withコロナの時代に入り、地域の活動や地域を対象とした学校教育活動が再開されたことが要因と考えられる。今後もあじさい学習で地域のことを学習対象とするなど、工夫をしていきたい。	生徒が地域の活動に参加してくれていることをうれしく思う。地域の美化活動や祭典の手伝い、福祉施設でのボランティアなどで生徒が活躍している場面が見られた。消防団を招いた総合的な学習の時間の取組はすばらしく、良い実践事例としては是非とも他校に紹介していただきたい。来年度も、これらの取組がさらに発展するよう、運営協議会としても協力していきたい。
10	躍友祭・緑友祭等の行事(練習・当日)に一生懸命に取り組んでいる。	97.3	-0.1	95.0	96.2		
11	地域の行事やボランティア活動に参加している。	58.8	4.0	57.4	61.5		
12	今住んでいる地域の歴史や自然について関心がある。	51.9	3.1	35.4	30.7		
3 【確かな学力】 (学習部)							
13	授業の内容がよく分かる。	85.0	-5.8	67.4	53.8	No.13・14・15の生徒の数値が低下していることは、反省材料として真摯に受け止めなければならない。教師の値も50%台と低く、教える側も十分に手応えを感じ取れていないことが推察される。近年、主体的な学習やICTの効果的な利用をテーマとして授業改善に取り組んでいるが、十分な成果とは言えない。原因を分析し、授業改善に向けた研修のあり方についても再考したい。 また、No.21の生徒の値が低下したことも、学力の定着に影響を及ぼしていると考えられる。家庭での学習習慣の定着に向けて、保護者に向けた啓発を行ったり、宿題の内容を工夫したりするなど、改善を図りたい。 No.19と20からは、一昨年度から導入されたタブレットなどを、「文房具」として日常的に使うことができていることが読み取れる。一方で、授業での使い方や家庭での利用のさせ方については、更なる改善を図りたい。特に、学習内容の定着や仲間との意見交流、自分の考えの発信などについて、効果的な方法を探していきたい。	授業の内容を理解している生徒が多いことは良いことであるが、15%の生徒がよく理解していないという事実にも注目したい。学習は学校での授業が基盤となるため、来年度も引き続き授業改善に向けた取組をお願いしたい。また、生徒と比較して保護者の数値が低い、これは親として更に学力を高めてほしいという願いであろう。家庭学習への取組など、保護者への協力を求めることも良い方法であると考え。 学力の差は、家庭環境の差から生まれるともいわれている。本校にネグレクトやヤングケアラーなどの生徒がいないか心配をしている。そのような生徒には、家庭での生活を改善することにも寄り添いサポートすることで、学力の向上につなげていけると良い。
14	授業中に先生や友達の話聞き、すすんで自分の考えを表している。	70.9	-6.9	55.7	53.8		
15	すすんで先生に聞いたり自分で調べたりして学習している。	71.9	-2.9	56.5	57.7		
16	ALTとの英語の授業を通して、英語への関心が高まっている。	76.6	2.3	53.5	73.1		
17	英会話の力が伸びている。ゆっくりでも英語で相手に自分の思いを伝えることができる。英語で話す相手の言葉を理解できる。	78.3	1.4	43.4	65.3		
18	あじさい学習では、自分で課題を立て、情報を集めて整理し、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる	88.8	-1.1	67.8	88.4		
19	パソコン等を使い、自分の考えをまとめたり、伝えたりすることができる。	93.1	1.1	84.4	88.5		
20	授業や家庭学習で、タブレットやパソコンなどを使って学習に取り組んでいる。	87.3	-2.4	69.7	92.3		
21	毎日家庭学習(宿題や塾での学習も含む)に取り組んでいる。	85.4	-4.5	78.1	42.3		
4 【たくましい体】 (生活部<保健>)							
22	何か夢中に取り組んでいるものがある。(部活動・社会体育・習い事など)	82.9	-4.1	82.9	80.7	本年度、新たに「地域部」を設置するとともに、来年度も地域と連携した部活動のあり方を模索していく中で、生徒が夢中になって活動できる場の確保に努めたい。 また、生活習慣などに問題を抱えた生徒について、一人ひとりの背景に気を配り、家庭との連携を大切にしながら、個別の指導や支援をしていきたい。	生徒の生活習慣は、保護者の意識が変わらない限り、改善していくことが難しいと考える。引き続き生徒への指導を行うとともに、家庭に対する根気強い情報提供をお願いしたい。
23	規則正しい生活リズム(食事、運動、睡眠)が身についている。	79.2	-0.4	79.2	69.2		
24	給食時の放送や食育指導を通して、食に関する意識が高まっている。	74.7	2.2	74.7	53.9		
5 【保護者】							
25	南部中で目指している子どもの姿や教育内容について知っている。			69.1		No.26は、昨年度に引き続き積極的な情報発信の成果が見られる。生徒の様子だけでなくNo.25の学校の教育内容についても積極的に発信し、保護者との協力関係の強化に努めたい。	ホームページでの情報発信が大変充実しており、すばらしい。今後も生徒や学校の様子を発信することで、家庭や地域の理解と協力を得るよう努めていただきたい。
26	南部中のホームページを見たことがある。			85.9			